

法曹コース モデル・カリキュラム

- ・卒業・早期卒業に必要な法学部専門教育科目の単位数は90単位である。ここでは法曹コース登録者・登録希望者のために、コース修了のための必修科目などを考慮に入れた74単位分のモデル・カリキュラムを示す。
- ・科目によっては隔年で開講されるものがある。隔年開講科目は、各年度の法学部開講授業の一覧において、翌年度開講されない科目として示される。早期卒業を目指す者は、2年次に進級した際に、3年次に開講されない科目を確認し、2年次のうちに履修をするよう留意すること。
- ・ここに掲げた科目のほか、東北大学法科大学院が開講する科目を特別聴講学生として履修することができる（修得した単位は、東北大学法科大学院に進学した際に修得単位として組み入れられる）。

講義の分類	基礎講義 ^{注1}			基幹講義		展開講義		学部演習 ^{注2}	
	私法・公法科目	基礎法科目	政治学科目	法曹コース必修科目 （6法指定科目） ^{注3}	法曹コース 履修推奨科目	法曹コース必修科目 （6法指定科目）	法曹コース 履修推奨科目 ^{注4}	法曹コース 選択必修	その他
モデル単位数	6単位	2単位	2単位	40単位	10単位	2単位	4単位	6単位	2単位
1年次	民事法入門 刑事法入門 司法制度論	法と歴史Ⅰ 比較法社会論 日本近代法史	日本政治外交史Ⅰ ヨーロッパ政治史Ⅰ 西洋政治思想史Ⅰ	憲法Ⅰ 民法総則 刑法Ⅰ					
2年次		法学の理論		憲法Ⅱ 憲法Ⅲ 物権法 契約法・債権総論★ 不法行為法 刑法Ⅱ 刑法Ⅲ★ 民事訴訟法★ 刑事訴訟法★		決済法 ^{注5}	英米法	実務演習 （年度毎に選択 必修科目たる 実務演習とし て指定される もの）	実務演習以外の 演習
3年次				家族法 会社法Ⅰ★ 会社法Ⅱ	行政法Ⅰ★ ^{注6} 行政法Ⅱ★ 商法総論・商行為法	決済法	日本法制史Ⅰ 日本法制史Ⅱ 法理学Ⅰ 法理学Ⅱ		
4年次							西洋法制史Ⅰ ^{注7} 西洋法制史Ⅱ ^{注7}		

無印は2単位科目、★印は4単位科目

注1：法学部卒業要件として、基礎講義のうち「私法・公法科目」「基礎法科目」「政治学科目」から各2単位を修得することが必要である。

注2：早期卒業のためには学部演習科目を8単位以上修得することが必要である。

注3：東北大学法科大学院入試における特別選抜（5年一貫型）を受験するためには、受験の前年度までに基幹講義・法曹コース必修科目（6法指定科目）のうち1年次・2年次に配当される12科目（32単位）を修得していることが必要である。3年次に配当された科目は、段階的な学習という観点から3年次での履修を想定し、5年一貫型特別選抜の出願資格に含まれないものであるが、学生が、各自の学習進度に合わせて2年次に履修することも妨げられない。

注4：ここに掲げる科目を修得すると、東北大学法科大学院に進学した場合、4単位を上限として基礎法・隣接科目の履修免除の対象となる。

注5：「決済法」は、法曹コース修了のための必修科目であるが、隔年開講である。3年次に開講されないことが予告されている場合には2年次に修得することが必要となることに、特に留意すること。

注6：「行政法Ⅰ」を修得すると、東北大学法科大学院に進学した場合、2年次配当法律基本科目の履修免除の対象となる。

注7：「西洋法制史Ⅰ」「西洋法制史Ⅱ」の対象学年は3・4年次である。なお、これらの科目は令和6年度まで開講されていた「西洋法制史特論Ⅰ」及び「西洋法制史特論Ⅱ」の科目名称が変更されたものである。